立命館大学学園祭2022 3キャンパスにて開催

実行委員長・事業部長インタビュー
「進化した学園祭を」

石川寛太 実行委員長

太田裕斗 特別事業部長

立命館大学学園祭2022が11月13日に衣笠キャンパス、12月4日に大阪いばらきキャンパス、12月11日にびわこ・くさつキャンパスにて開催される。

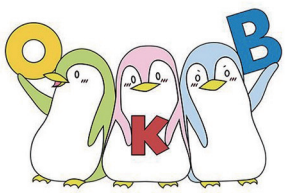
昨年度に続き、参加には事前予約を必要とするが、予約枠を1・5～2倍程度に拡大しており、感染対策を実施しながら、さらに多くの人が参加できるようにしたという。

また、昨年度からの変化として着ぐるみ企画の復活がある。特別事業部長の太田裕斗さん（法4）は「各キャンパスでリッツ・ブラザーズが登場する予定なので、ぜひ会いに来てほしい」とした。

開催に向けた意気込みとして、太田さんは「本年度の学園祭テーマ『Next Step』には、昨年度より進化した学園祭を創り上げ、学園祭の盛り上がりを2019年度に匹敵するものにしたいという意味が込められている。一人でも多くのお客さんにご来場いただき、一緒に学園祭を盛り上げていただけたらうれしい」とした。学園祭実行委員長の石川寛太さん（映像4）は「2019年度以前の盛り上がりに回帰するだけではなく、アフターコロナを踏まえたうえで新たな学園祭を提供することが使命であると考えている」と述べた。

リッツブラザーズ企画 本年度も開催

本年度学園祭の公式キャラクターは、昨年度に引き続き「リッツ・ブラザーズ」が務める。衣笠祭典では、昨年度盛り上がりを見せた「ラリー企画」に参加できる他、本年度は着ぐるみ企画と称してリッツ・ブラザーズたちに会うことができるファッションショーや写真会企画が行われる。ファッションショーでは、学園祭を運営する特別事業部の学生が考案したオリジナル衣装のリッツ・ブラザーズと会うことができる。（三好）



公式キャラクターのリッツ・ブラザーズ（左からオスカー、ケビン、ビリー）

衣笠祭典に久間田琳加さんと青木源太さんが登場

久間田琳加さん（21）

本年度の衣笠祭典当日の午後2時からプロタレント企画が実施され、久間田琳加さんと青木源太さんが登場する。

今回は女性ファッション誌『non-no』の専属モデルである久間田琳加さんのトークショーが行われる。

久間田さんは2001年生まれの21歳。2012年、小学校6年生の時に受けた「第16回ニコラモデルオーディション」でグランプリモデルに選ばれたことがきっかけでモデル活動を開始。『nicola』や『Seventeen』でも専属モデルを務めた。現在はモデル業だけでなく、10月スタートの朝日放送系列の『青春シンデレラ』で主演を務めるなど、女優業でも活躍している。

さらに、トークショーのMCにはフリーアナウンサーの青木源太さんを招く。

青木さんは元日本テレビのアナウンサー。バラエティ番組『PON!』や『火曜サプライズ』に出演し、情報番組『バゲット』のMCを務めた。現在は自身のYouTubeチャンネルでの動画投稿や、タクシーサイネージメディアのMCに抜擢されるなど、テレビにとどまらない多岐にわたる活動をしている。さらに、防衛省や自衛隊の認識を高めるために委嘱された防衛省オピニオンリーダーも務め、定期的に日本の防衛に関する情報を発信している。

企画詳細や参加方法などは随時更新される学園祭公式Twitterや、学園祭の公式ホームページの情報を確認してほしい。（岡村）

青木源太さん（39）

学園祭テーマロゴ 祭典に勢いを

立命館大学学園祭実行委員会は、9月12日に本年度学園祭のテーマロゴを発表した。

ロゴの中心に位置する「N」は学園祭の盛り上がり度合いの推移を表わすという。ロゴを考案した坪田幸輝さん（情理3）は「各キャンパスのイメージカラーである『赤』『青』『黄』を用いて、立命館らしさにこだわった。さらにロゴタイプを少し斜体にすることで、全体的に勢いを感じられるデザインに仕上げた」とコメントしている。

学園祭実行委員長の石川寛太さん（映像4）は「このロゴは3キャンパスそれぞれの祭典カラーをもとにした配色になっており、3つの祭典で盛り上がるという意味合いを感じることができると思う。また、スタイリッシュな見た目からさまざまな場面で使用できるところも魅力である」とした。（三好）

Next Step

本年度のテーマロゴ

発行所　立命館大学新聞社
発行人　坂口　和香奈
〒603-8577 京都市北区等持院北町
56-1 立命館大学学生会館 BOX316
075-465-8253（内線 2160）
〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1
立命館大学セントラルアーク 4F
〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150
立命館大学 A 棟北ウィング（AN）
3F Student Lounge 内
email:info@ritsumeikanunivpress.com

立命館大学新聞社
RITSUMEIKAN UNIV PRESS
www.ritsumeikanunivpress.com
立命館大学新聞社　検索
TEL
075-465-8253
MAIL
info@ritsumeikanunivpress.com
Twitter
@Rits_Press
Facebook
www.facebook.com/ritspress/

学園祭情報発信中

学園祭特集号

本号の紙面

学園祭2022開催　…1面
衣笠　謎解き企画　…2面
OIC　模擬店復活　…2面
BKC　ステージ企画　…2面

特集　３キャンパス祭典の見どころ

衣笠祭典　復活企画から新企画まで

本学学園祭の幕開けを担う衣笠祭典では、新企画や復活企画を含むさまざまな企画が行われる。なかでも最大の目玉はステージ企画だ。テーマにやり直しを意味する「ＲｅＤｏ」を掲げる中央広場のステージ企画では「立命館大学応援団」やチアダンスサークル「BLENDERS」をはじめとした個性豊かな学生団体によるパフォーマンスが行われる。さらに西側広場でも、ステージ企画が３年ぶりに復活する。日頃からサークル活動が盛んな衣笠キャンパスの特性を生かし、多くの学生団体の活躍を目にすることができる。

また、初の試みとして、人気ＶＴｕｂｅｒらによる「サイレントディスコ」が衣笠体育館第２アリーナにて行われる。「サイレントディスコ」とは、専用のワイヤレスヘッドホンを使用し、参加者全員でアーティストが発信する音楽を共有するスタイルのイベントである。ヘッドホンを外せば無音の空間が広がるという、最先端かつ新感覚の音楽ライブを体験することが可能だ。

昨年度衣笠祭典の様子

例年よりも盛り上がる祭典に

例年よりも盛り上がる衣笠祭典にするために、学園祭実行委員会衣笠副実行委員長の横内志保さん（文４）は、本学ならではの企画を数多く用意したと話す。その筆頭が着ぐるみ企画だ。本企画では、学園祭の公式キャラクターである「リッツ・ブラザーズ」たちがキャンパス内を練り歩くほか、中央ステージではファッションショー、学生会館西側では写真会を実施する。リッツ・ブラザーズが来場者との交流により、本学学園祭の幕開けとなる衣笠祭典の盛り上げ役を担う。

また、祭典全体を使った企画にも注目してほしいと横内さんは語る。団体企画に参加してシールを集める「ラリー企画」や、キャンパス中をまわることによりクロスワードを解く「トレジャーハント」などである。それぞれ完成させることによりリッツ・ブラザーズのトートバッグやアクリルキーホルダー、フェイスタオル、ボールペンといった本学オリジナルグッズをゲットしたり、Nintendo Switchなど豪華景品への抽選に応募したりすることができる。そして、目玉企画とされている謎解き脱出ゲーム「鮮烈の怪盗（ファントム）」はキャンパス西側の洋洋館にて実施される。先着順で配布される当日整理券を入手することで参加が可能だ。他にも、キャンパス各所に模擬店や縁日、フリーマーケットといった学生が考案した店舗が出店するなど、屋内外を問わず多様な企画が用意されている。

横内さんは「例年より規模の大きい祭典にするため、積極的に新企画や本学ならではの企画を取り入れた」とし「衣笠祭典は今年度学園祭のトップバッター。良いスタートを切れるように盛り上げていきたい。来場者に楽しんでもらえる祭典にできたらうれしい」と意気込んだ。（鈴木萌）

本学のオリジナルグッズ

多様な企画　模擬店復活

ＯＩＣ祭典注目の企画は、３年ぶりに開催される模擬店企画である。昨年度は新型コロナウイルスの影響で本祭典のみ模擬店企画を行えず、運営メンバーたちは悔しい思いをしたという。本年度は運営メンバーの努力や大学側の協力もあり、開催が決定した。林田さんは「ぜひルールを守って模擬店を楽しんでほしい」とした。

本年度のＯＩＣ祭典は、使用するエリアの拡大や昨年度には実施されなかった模擬店が復活するなど、全体の開催規模が昨年度よりも大きくなっていることが特徴である。他キャンパスの祭典と異なる点として、林田さんは、メインステージが屋内のＯＩＣアリーナで行われることを挙げた。「ＯＩＣ祭典でしか体験できない、臨場感のある屋内ステージを楽しんで」とコメントしている。（坂口）

2019 年度に行われた模擬店の様子

ＯＩＣ祭典　英語基準の学生も参加

ＯＩＣ祭典では、日本語基準の学生のみでなく、英語基準の学生も企画運営に多く参加している。英語基準の学生が主体となり交流会やミニゲームを行うブースが設けられる予定だ。また、本年度はGlobal Supportersの協力のもと、模擬店・フリーマーケット・縁日企画の募集ページおよび募集冊子を全英訳化。英語基準の学生が言語の壁で学園祭に参加できないということがないようにするためで、３キャンパスを通じて初めて行われた。

Global Supportersは、英語基準学部やコースに所属する国際学生の課外自主活動参加の支援のため、政策科学部自治会やグローバル教養学部自治会の学生らにより発足した団体。祭典では、英語と日本語の両方に対応できる学生が常駐する。

学園祭実行委員会ＯＩＣ副実行委員長の林田里梨さん（経営４）は「本年度は、誰もが楽しめる祭典を目指してさまざまな企画や取り組みを行っている。運営メンバーや団体の日頃の活動の成果を見に来ていただけたらとてもうれしい。気軽に遊びに来てほしい」と呼びかけた。（坂口）

Global Supporters 所属の学生らが国際学生を支援する

全世代が楽しめるイベント

BKC 祭典　目玉はステージ企画

ＢＫＣ祭典は、他キャンパスよりも大きい敷地を生かした企画が特徴で、サークルによるステージ企画や団体企画、有志による模擬店・フリーマーケット・縁日が行われる。また、来場者の入構可能人数が昨年度から４０００人分増え、団体企画の数も増加している。

ＢＫＣ祭典の見どころはステージ企画だ。ＢＫＣ祭典のキャンパスのコンセプトは「彩り豊かなキャンパス」だ。キャンパスプロムナードでは和傘を取り入れたカラフルな花火と音楽を合わせた演出を楽しむことができ、昨年度も大きな盛り上がりを見せた。ＢＫＣ祭典ではこのように、多くの世代が楽しむことのできる企画がめじろ押しだ。

学園祭実行委員会ＢＫＣ副実行委員長の市場新也さん（経済４）は「多くの来場者が参加でき、企画も増えたことで学園祭をより楽しむことができる。今年度はコロナ禍で２回目となる学園祭であるため、コロナ禍以前と同じ、もしくはパワーアップした学園祭になることを期待している。規模縮小の必要があった昨年度の経験を生かせるよう、学園祭実行委員会、特別事業部ともに尽力している。どの企画も来場者に楽しんでもらえるように、各担当者が力を入れて取り組んだ。ぜひ皆さんに参加していただきたい」とした。（三好）

昨年度のセントラルステージ

昨年度に打ち上げられた花火

祭典ではセントラルステージとビーイングステージの２つのステージが設営される。セントラルステージでは「Dance Dance Revolution」をテーマに、本祭典最大規模となるダンスパフォーマンスが行われる。本学のダンスサークルが４団体続けて出演する予定だ。ビーイングステージではセントラルステージより観客と演者の距離が近く、臨場感をより感じることができる。

その他、団体企画には35団体が参加し、プリズムハウス、インテグレーションコア・ラルカディア、コラーニングハウスⅠ・Ⅱ、ＢＫＣスポーツ健康コモンズ、ユニオンスクエア、エポックホールで企画を行う。（三好）